

学校教育目標：「向学 自主 協働」

校訓：「夢を實現」



川通中だより

令和6年11月1日 第7号
さいたま市立川通中学校
TEL 048(799)1061
川中キャラクター ホームページ



～スローガン：「一生懸命はかっこいい」～

友情のキズナ

校長 鈴木 純

校庭のハナミズキがさらに赤みを帯び、他の木々も黄色、黄緑色に彩が加えられています。民家の庭先に植えられている柿の木は橙色の実をたくさん実らせ、大きく枝をしならせている様子が見られます。紅葉の名所では、いよいよ見ごろを迎えるころとなりました。

さかのぼること10月22日、さいたま市駅伝競走大会が、荒川総合運動公園にて盛大に開催されました。はじめは曇り空でしたが、太陽が顔をのぞかせ汗ばむ陽気でした。10時00分から女子、11時30分からは男子のレースが行われ、川中の選手たちは、それぞれの思いを胸に抱きながら、自己の力を最大限に発揮すべくレースに臨みました。絆という言葉を引き合いに出し、「前の走者のもっている半分の糸（タスキ）を次の走者につないだ瞬間に絆が生まれる」と選手の皆さんに激励の言葉として贈りました。レースでは、メンバーみんなの思いが詰まった友情のタスキをアンカーまでつなぎ、男女とも川中ベストを超えて無事にゴールインしました。とても立派でした。また、選手には選ばれなかったけど、一緒に毎回の練習に参加し士気を高めてくれたみなさん、ありがとう。そして、選手のみなさんお疲れ様でした。

10月26日は、本校に赴任して一番の関心ごと、合唱祭でした。中間テストを終えたあと、放課後には各クラスから、パート練習をしたり合わせの練習をしたりする歌声が聞こえてきました。合唱祭を間近に控えた数日間、日を追うごとに熱を帯び、気迫のこもった合唱があらこちらに響き渡っていました。

当日は、「愛～絆で届けるぼくらの歌～」というスローガンのもと、短期間の練習の中でしたが、クラス一丸となって、「前日よりよい合唱を、愛をこめ、心をこめて」と、今まで自分たちが歌ってきた合唱の中で一番の表現になるよう、一人ひとりが心を寄せ合い立派な合唱に仕上げていました。どのクラスも甲乙つけがたい立派な合唱でした。本校のスローガン「一生懸命はかっこいい」をまさに体現してくれており、体育祭に引き続き「川中生のカッコよさ」を知ることができた行事でした。

そして、保護者・地域の皆様、合唱祭にお越しくださりありがとうございますございました。

さて、いよいよ、全校三者面談です。3年生のみなさんは、進路の話が中心となります。準備は進んでいますか。上級学校を選択する際、どのように決めていますか。入学試験で面接のある学校もあると思いますが、必ず聞かれるのが、「なぜ本校を希望したのですか」です。この、「なぜ」についてですが、明確さがないと、せっかく選んだ学校なのに入学しても進むべき道が見えなくなってしまいます。実際に上級学校に通うのは3年生あなた自身です。よく調べ、自分が何を学びたいのか。上級学校卒業後どうするのか。将来はどうしたいか。ある程度のビジョンをもってると、現在置かれている自分の状況を振り返り、今の学習の大切さや今後必要な学習を見出すことができるのではないのでしょうか。

はじめは苦しくてつらいことが、自分を成長させてくれます。

とにかく前に一步を踏み出してみる。

そうすれば、花咲く時は必ずやってきます。【星野 富弘】